

地域と連携し需要が落ち込んでいる 生花の消費拡大に向けた研究

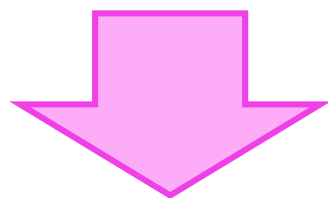


生活科学科 草花班

高橋 七聖 瀧本 爽 田中 雛 濱崎 桜来
船元 美月 山下美 咲 山下 綾菜

研究の動機

コロナなどの影響により生花の消費が
落ち込んでいる



授業「草花」での学びを通して、
地域と協働し、生花を様々な場面で活用す
ることで消費拡大のPRをしていきたい！

目的達成のためのポイント

- 1 専門の方や花屋さんに教えてもらう
- 2 天草地域の花き生産者に花き農家の現状を聞く
- 3 私達自身が草花にふれることでより関心を高める

1 最終の目標

天草産の生花を活用した地域の方々に花の魅力をPRする。

そして、生花の消費拡大に繋げる。

2 今年の目標

天草の花き産業についての理解を深める。フラワーデザインの基礎基本を習得し、実際に完成させる。

研究の経過

7月30日（木）

天草広域本部福島様より「花き講話」の実施





熊本県産の生花の花束
をいただきました。

頂いた生花を用いて
授業でコサージュ
作成をしました



9月11日（金） コンソーシアム会議 （天草広域本部、木庭課長より助言）



天草の花き産業の現状や課題についての
貴重な話し合いができました。

10月5日（月）より12回、天草広域本部
よりアレンジメントをいただきました。



熊本県産の
アレンジメント

運んでいる様子





生徒の目に一番ふれる場所に置きました。

10月8日（木）13日（火） フラワーアレンジメント



花の配置・配色を考えていくのが
難しかったです。

10月27日（火）
フラワーアレンジメントの講習
（於：花よど）

完成形を考えながら花の位置・配色を決めていくのが難しかったです。



フォーカルポイントを決め、スパイラル状に順番に束ねることを
アドバイスしていただきました。



11月10日（火）

ブーケ作り



花の切り方などを
教わりました

30人で70個の
ブーケを作りました。



11月11日（水）

拓心祭Lコレ



サプライズでミニブーケを渡しました。

天草ケーブルテレビの映像



11月20日（金） 新和町のトルコギキョウの生産現場の観察



面積：約2.1 ha
出荷量：約60万本

八重咲中輪タイプ～
大輪フリンジタイプ
30品種以上





大宮地のきれいな
水を使っています。

最初に出た蕾は、
栄養を分散させる
ためにとっています。



感想

自らで花を加工することにより多くの生花の魅力を見つけ、花を身近に感じることができました。



今後の課題

- 1 ドレスにあうブーケを自分たちで作る
フラワーアレンジメントの知識と技術を
身につける。
- 2 より効果的なPR方法を探る
PRの対象を確定し、コロナ禍における
効果的な情報発信を検討する。